



平成 29 年 2 月 9 日
海 上 保 安 庁

ASEAN 諸国の VTS^{*1} 管制官育成に向けて

～第 3 回 VTS 管制官の人材育成にかかる日 ASEAN 地域会合の開催～

海上保安庁は、平成 29 年 2 月 13 日から 17 日まで、ASEAN 諸国において船舶の航行安全対策を所管する関係当局職員を日本に招き、VTS (Vessel Traffic Service: 船舶通航支援等業務) 管制官の人材育成に関する地域会合を開催します。

1. 開催目的

海上保安庁は、今後一層の船舶需要が見込まれる ASEAN 諸国における効果的な航行安全対策を推進するため、日 ASEAN 交通連携^{*2} の枠組みにより「海の安全についての協力 (VTS 人材育成協力プロジェクト)」を立ち上げ、マレーシアにおいて VTS 管制官育成のための ASEAN 地域訓練センターの設立準備を進めています。

ASEAN 諸国は、当該センターにおいて基本訓練を修了した研修生に対し、国際標準に沿った OJT の実施及び資格付与の認定事務を行うこととしています。

本会合は、上記プロジェクトの一環として、各国の VTS 業務における、OJT の実施内容及び資格付与の認定手続きを共有し発展を図ることにより、ASEAN 諸国における VTS 管制官の育成を支援することを目的としています。

2. 日程及び場所

月日	内容	場所
2 月 13 日 (月)	会議	本庁 (中央合同庁舎 2 号館 16 階国際会議室)
2 月 14 日 (火)	テクニカルツアー	日本無線株式会社 長野事業所 (長野市) ほか
2 月 15 日 (水)		
2 月 16 日 (木)	会議	本庁 (中央合同庁舎 2 号館 16 階国際会議室)
2 月 17 日 (金)		

3. 参加国（組織）

ASEAN 諸国（インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス）及び IALA^{*3}

4. 会合の内容

国際基準に沿った VTS 管制官の育成に向けて、ASEAN 諸国は、ASEAN 地域訓練センターに派遣した研修修了者を国内の VTS に配置し、国際標準の OJT を実施することにより VTS 管制官の資格認定を行う必要があります。このため、本会合では、OJT 実施に向けた研修計画の立案、実施及び評価の手法並びに資格付与の認定手続きを共有・確認し、ASEAN 諸国における国際基準に沿った VTS 管制官の継続的な育成を支援します。

また、テクニカルツアーとして日本無線株式会社長野事業所を訪問し、ASEAN 地域訓練センターに導入予定の VTS シミュレーターを見学します。

- ※1 VTS (Vessel Traffic Service : 船舶通航支援等業務) は、航行船舶の安全性と効率性の向上等を目的に、レーダー、AIS、VHF 無線電話等を活用し様々な情報を収集したうえで、航行船舶に対し入航時刻の指示、危険回避の勧告等、必要な情報を提供する業務です。
- ※2 日 ASEAN 交通連携は、平成 15 年に創設された日本と ASEAN 諸国との交通分野の協力枠組みのことです。
- ※3 IALA(International Association of Marine Aids to Navigation and Lighthouses Authorities : 国際航路標識協会) は、IMO (国際海事機関)、ITU (国際電気通信連合) 及び IHO (国際水路機関) 等と密接な関係を保ちつつ、航行援助事業にかかる諸問題の検討、航行援助事業の標準化のための勧告・ガイドライン等の制定及び各国・地域の航行援助事業の発展等に努めている非政府組織です。